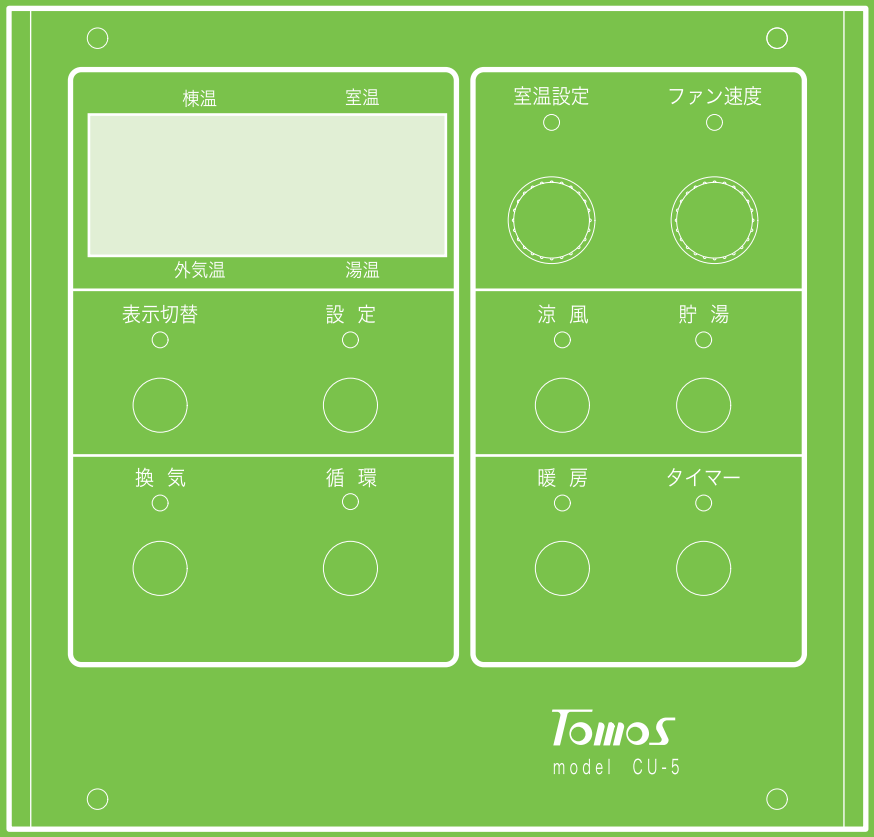
OM SOLAR SYSTEM

T型制御盤　操作説明書

型式　TC-5



使用上の注意

ご使用前に本書をよくお読みいただき、内容を十分理解されてから正しくご使用ください。
読み終わったら本書はいつでもご覧いただけるところに大切に保管してください。

禁止

おこなってはいけない内容を告げるマークです。

感電

感電のおそれのある内容を告げるマークです。

分解禁止

分解してはいけない内容を告げるマークです。

注意

機器に損傷をあたえる恐れのあることを告げるマークです。

	濡れた手で制御盤の操作をおこなわないでください。感電、故障の恐れがあります。
	洗剤やシンナーを使っての清掃はおこなわないでください。制御盤の清掃は、乾いた布もしくはかたく絞った布等で軽く拭きとる程度でおこなってください。塗装面の劣化や感電、故障等の恐れがあります。
	お客様自身では、分解、修理、改造はおこなわないでください。ショート、感電、誤作動の恐れがあります。
	制御盤に水をかけたり、物や体をぶつけないでください。故障、火災の原因になる恐れがあります。
	とがったものや硬いもので操作しないでください。穴が開いて故障の原因になります。
	小さなお子様がいるお宅では、いたずらに注意してください。誤作動による事故や故障の原因となる恐れがあります。
	塗装や装飾をしないでください。故障、火災の原因になる恐れがあります。
	油煙や湯気をあてないようにしてください。故障の原因になる恐れがあります。
	冬季に「涼風」を選択しないでください。凍結により熱交換コイルが破損する恐れがあります。
	長時間留守にするときでも、パワーユニットの電源は切らないでください。パワーユニットの電源を切るとファンが回らなくなり、集熱温度が高くなりすぎて、故障の原因となる恐れがあります。

本書の他に、貯湯槽などの各取扱説明書をご参照ください。

目　次

使用上の注意 2
制御盤の名称と機能 4
OMソーラーの運転パターン 6
設定プラン 8
取入室温の設定 10
暖房室温の設定 11
お湯採り 12
涼風取入 13
補助暖房 14
タイマー運転 15
換気／循環 16
ファン速度 17
設定モード 18
表示切替 19
運転記録 20
拡張設定 22
リセット 26
時計の合わせ方 27
エラーメッセージ 28
故障かな？と思ったら 29
仕様 30

制御盤の名称と機能

制御盤はOMソーラーを操作する機器です。
各部の名称と機能を紹介します。

ディスプレイ

温度、運転状況、設定値などの
各種情報を表示します。

表示切替ボタン

ディスプレイの表示モードを切り
替えます。

設定ボタン

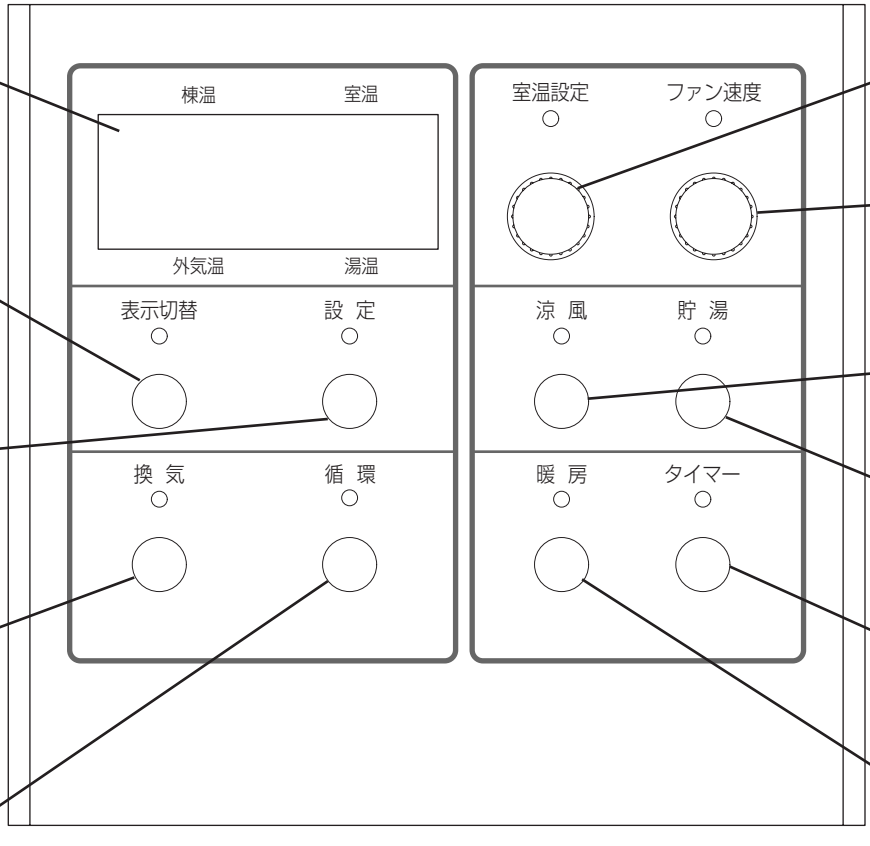
時刻、暖房タイマーの入切時刻など
を設定する「設定モード」に切り替
えます。

換気ボタン

換気運転を　開始／停止　します。
ランプ　点灯:作動中　消灯:解除

循環ボタン

循環運転を　開始／停止　します。
ランプ　点灯:作動中　消灯:解除



室温設定ボリューム

取入室温、暖房室温を設定します。「設定モード」では設定項目を変更します。

※ボリュームには押す、回すの2つの操作があります

ファン速度ボリューム

各運転モードのファン速度を設定します。「設定モード」では設定項目の設定値を変更します。

※ボリュームには押す、回すの2つの操作があります

涼風ボタン

涼風取入 する/しない を切り替えます。

ランプ　点灯:待機中/作動中　消灯:解除

貯湯ボタン

お湯採り する/しない を切り替えます。

ランプ　点灯:待機中/作動中　消灯:解除

タイマーボタン

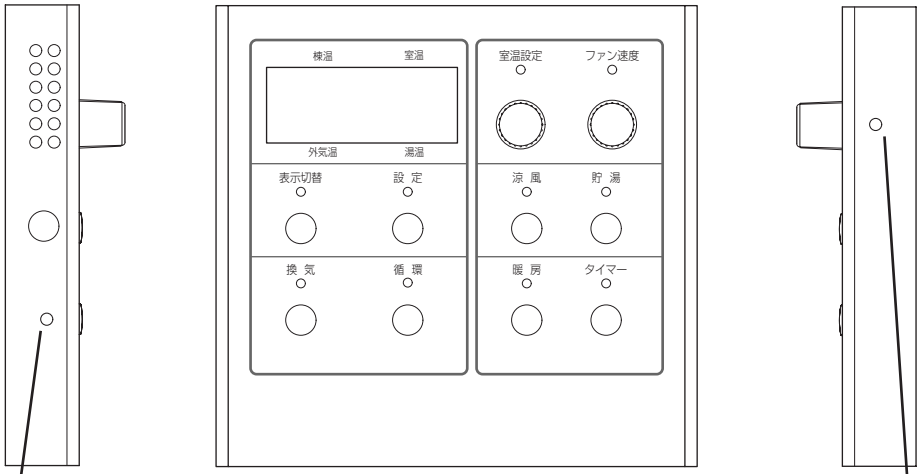
補助暖房をタイマー運転 する/しない を切り替えます。

ランプ　点灯:待機中　点灯(橙):作動中　消灯:解除

暖房ボタン

補助暖房 する/しない を切り替えます。

ランプ　点灯:待機中　点灯(橙):作動中　消灯:解除



拡張設定スイッチ

拡張設定モードを起動します。

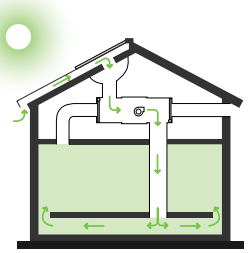
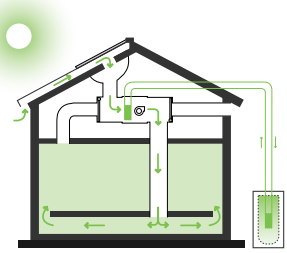
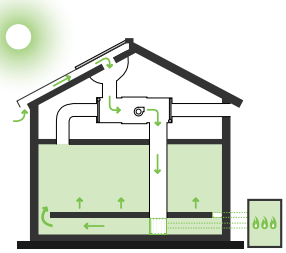
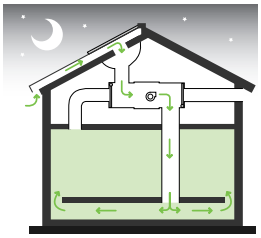
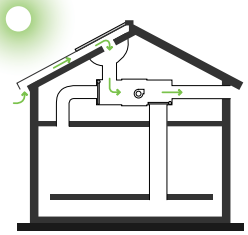
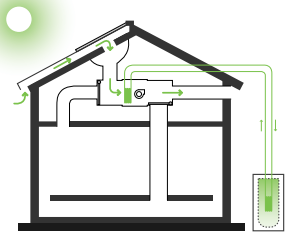
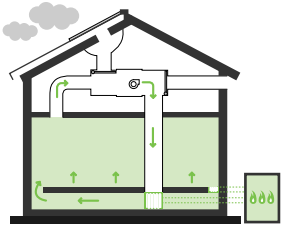
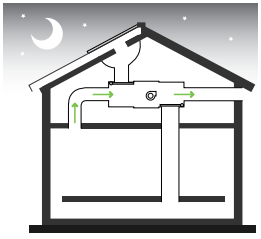
※先の細いピンなどで押します

リセットスイッチ

リセット(再起動)させるときに押します。

※先の細いピンなどで押します

OMソーラーの運転パターン

	集熱	貯湯	暖房	涼風
取入	 取入運転 トリイレ	 貯湯取入運転 チョトウトリイレ	 暖房取入運転 ダンボウトリイレ	 涼風取入運転 リョウフウ
排気	 排気運転 ハイキ	 貯湯排気運転 チョトウハイキ		 屋根冷やし運転 ヤネヒヤシ
循環・換気			 暖房運転 ダンボウ	 涼風取入時換気運転 リョウカンキ

運転停止

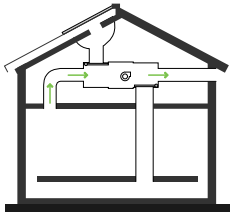
停止

テイシ

自然換気

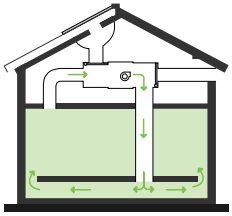
シゼンカンキ

その他



換気運転

カンキ



循環運転／床下換気運転

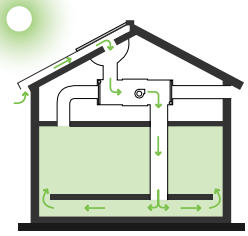
ジュンカン ／ ユカシタカンキ

設定プラン

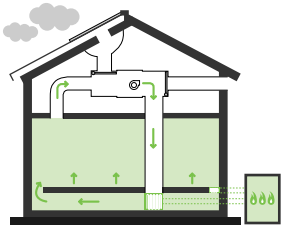
制御盤の設定方法は幾通りもありますが、まずは制御盤に親しむために
以下に示す季節毎の代表的な設定プランに設定してみましょう。

天気の良いときは太陽で暖房し、天気の悪いときは補助暖房で補う運転例

冬



取入運転（トリイレ）



暖房運転（ダンボウ）

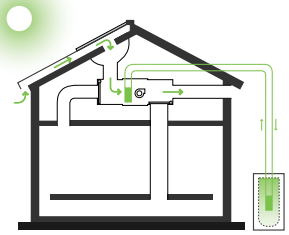
取入室温	暖房室温	涼風	貯湯	暖房
ツネニ	20℃	シナイ	シナイ	スル

晴れた冬の日中など、集熱出来る条件がそろったときに温められた空気を室内に取り込みます。
→「取入運転（トリイレ）」
また、集熱出来る条件がそろわないときで、設定した暖房室温※に室温が達していないときは補助暖房が作動します。
→「暖房運転（ダンボウ）」

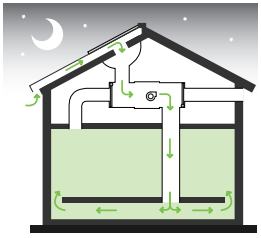
※暖房室温はお好みの温度に設定します。
ここでは例として20℃としています。

日中は集めた熱でお湯採りし、夜間涼しい日は外気を取り込む運転例

夏



貯湯排気運転（チョトウハイキ）



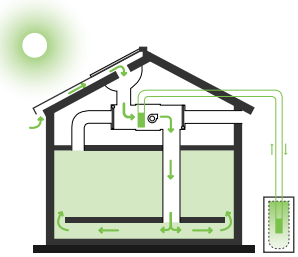
涼風取入運転（リョウフウ）

取入室温	暖房室温	涼風	貯湯	暖房
シナイ	——	スル	スル	シナイ

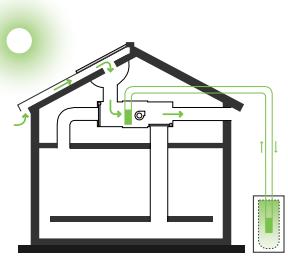
屋根面の熱気は、ファンによって屋外へ排出されると同時に、お湯採りコイルで熱気をお湯に交換します。
→「貯湯排気運転（チョトウハイキ）」
また、夜間に屋外が涼しくなると外気を室内に取り込みます。
→「涼風取入運転（リョウフウ）」

あまり暖房のいらない季節は、余った熱をお湯採りに生かす運転例

春・秋



貯湯取入運転（チョトウトリイレ）



貯湯排気運転（チョトウハイキ）

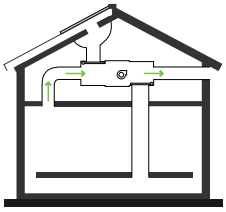
取入室温	暖房室温	涼風	貯湯	暖房
25℃	——	シナイ	スル	シナイ

集熱空気はお湯に交換されたあと、室内へ取り込みます。
→「貯湯取入運転（チョトウトリイレ）」
設定した取入室温※に室温が達すると、お湯採り後の空気は屋外へ排出されます。
→「貯湯排気運転（チョトウハイキ）」

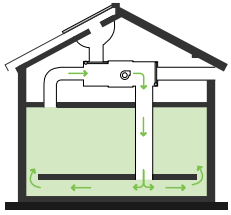
※取入室温はお好みの温度に設定します。
ここでは例として25℃としています。

いつでも動かすことができる運転

その他



換気運転(カンキ)

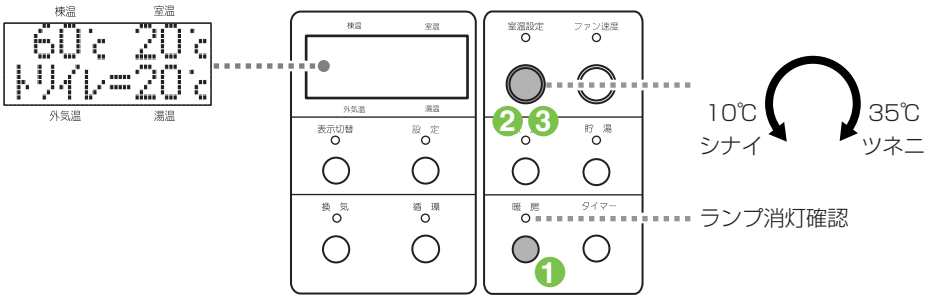


循環運転(ジュンカン)

換気	循環
ON	ON

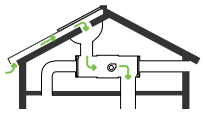
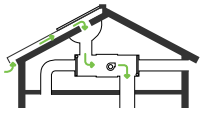
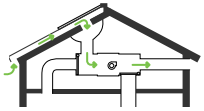
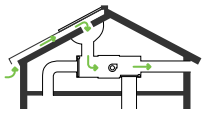
・換気運転（カンキ）
例えば熱気や湿気が室内にこもっているときに排出できる運転です。他の運転中でも換気ボタンを押すと20分間運転します。
・循環運転（ジュンカン）
例えばストーブなどを使っているときに、天井付近にたまった熱気を床下に送り込む運転です。上下温度差を少なくする効果があります。他の運転中でも循環ボタンを押すと20分間運転します。

取入室温の設定

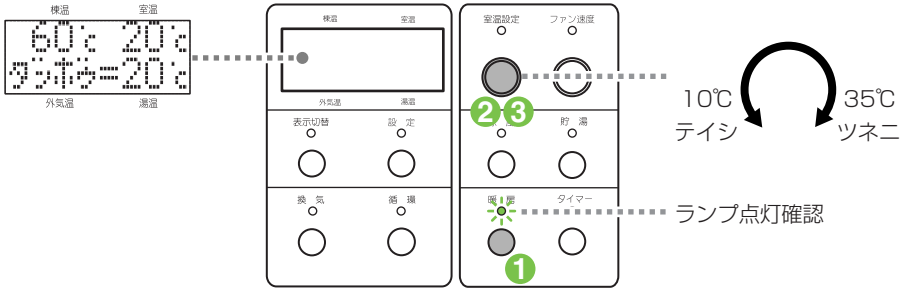


集熱した空気を取り入れるか排気するかを取入室温で設定します。

❶ 暖房ボタンを押してランプを消灯させる→ディスプレイに「ダンボウ　シナイ」が表示されます。
❷ 室温設定ボリュームを回して取入室温を変更する。
❸ 室温設定ボリュームを押して設定を完了する。

<table>
<tr><th>取入室温</th><th colspan="2">集熱運転の動き</th></tr>
<tr><td>ツネニ</td><td>室温に関係なく取り入れます。</td><td colspan="2">  </td></tr>
<tr><td rowspan="2">10℃～35℃</td><td rowspan="2">室温が取入室温に達するまでは取り入れます。取入室温に達すると排気になります。</td><td>室温＜取入室温</td><td>室温＞取入室温</td></tr>
<tr><td>  </td><td>  </td></tr>
<tr><td>シナイ</td><td>室温に関係なく排気します。</td><td colspan="2">  </td></tr>
</table>

暖房室温の設定

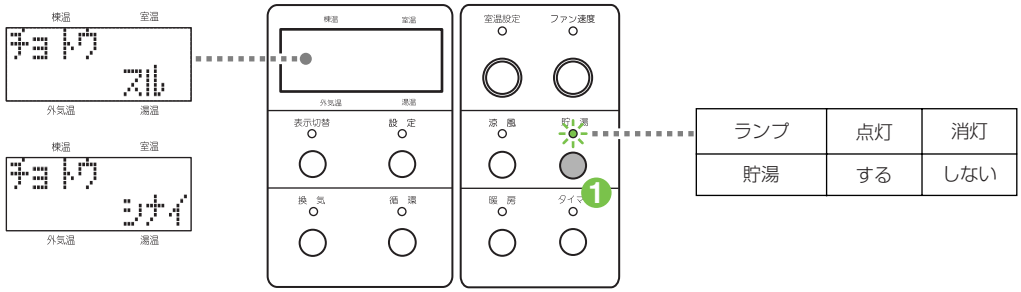


室温が何℃になるまで補助暖房を作動させるかを暖房室温で設定します。

1. 暖房ランプが点灯しているか確認する→ディスプレイに「ダンボウ　スル」が表示されます。
2. 室温設定ボリュームを回して暖房室温を変更する。
3. 室温設定ボリュームを押して設定を完了する。

・暖房室温を取入室温より高い温度に変更すると、取入室温は自動的に「暖房室温＋1℃」に設定されます。
・取入室温を暖房室温より低い温度に変更すると、暖房室温は自動的に「取入室温－1℃」に設定されます。

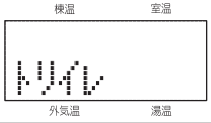
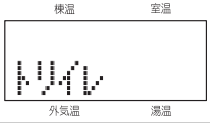
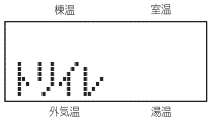
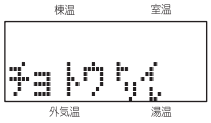
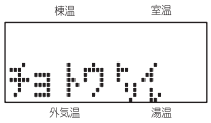
お湯採り



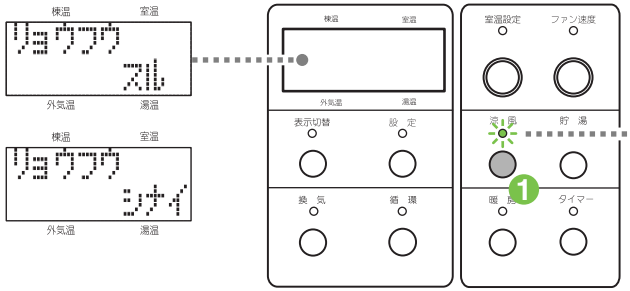
お湯採りする／しないを貯湯ボタンで設定します。

❶ 貯湯ボタンをお湯採りする/しないを設定します。
ディスプレイに「スル」「シナイ」が表示されます。

・お湯採りする設定になっていても、貯湯槽側の差温条件が揃っていない場合はお湯採りしません。
・お湯採りを開始するときの温度条件となる貯湯開始室温を「設定モード」で変更することができます。
初期値は「条件なし」に設定されています。
・使用している貯湯槽の機種によって「動作状況モード」で表示される「チョトウ」の意味が異なります。
OM貯湯槽の場合は、貯湯槽側の差温条件も揃って実際にお湯採りしている状況を表します。その他の貯湯槽の場合は、貯湯槽側の差温条件に関係なく、制御盤のお湯採り条件が揃ったことを表します。

お湯採り設定	差温条件	OM貯湯槽	その他の貯湯槽
シナイ	−		
スル	×		
	○		

涼風取入



ランプ	点灯	消灯
涼風取入	する	しない

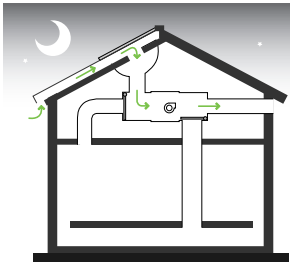
涼風取入する/しないを涼風ボタンで設定します。

❶ 涼風ボタンを押して涼風する/しないを設定します。

・涼風取入が行われる条件は以下の3つです。

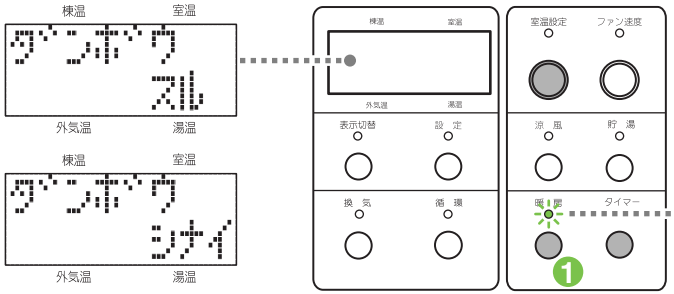
1.室温が取入室温より高い
2.外気温が室温より低い
3.棟温が室温より低い

・涼風取入の条件がそろうまで、夕方6時～夜12時の間に集熱面を冷やすための「屋根冷やし運転」がおこなわれます。夜12時まで屋根冷やし運転をおこなっても涼風取入運転の条件が揃わないときは運転を停止します。



屋根冷やし運転(ヤネヒヤシ)

補助暖房



ランプ	点灯	点灯(橙)	消灯
補助暖房	する (待機)	する (運転中)	しない

2 → P11参照

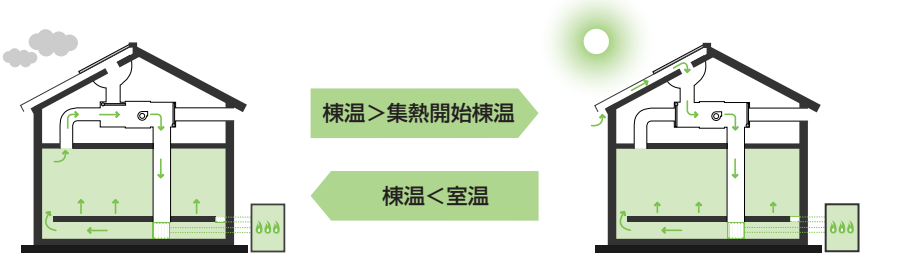
補助暖房する/しないを暖房ボタンで設定します。

1 暖房ボタンを押して暖房する/しないを設定します。

室温が何℃になるまで補助暖房を作動させるかを暖房室温で設定します。

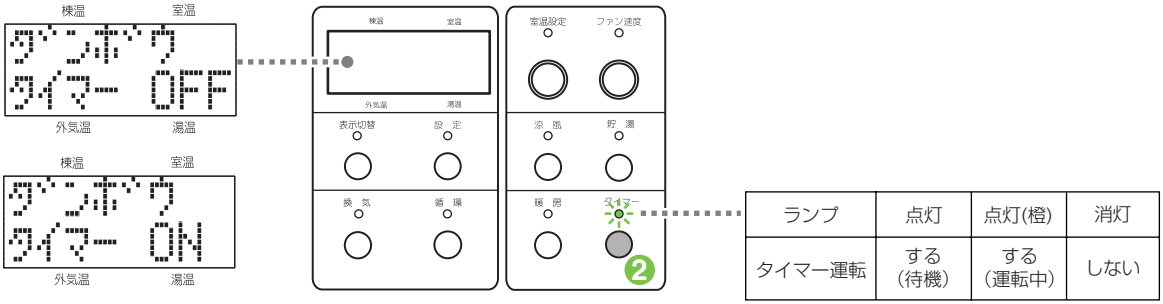
2 暖房室温を設定します。(P11参照)

・循環から取入に切り替わる条件は「棟温＞集熱開始棟温」です。取入から循環に切り替わる条件は「棟温＜室温」です。



暖房運転（ダンボウ）　　暖房取入運転（ダンボウトリイレ）

タイマー運転



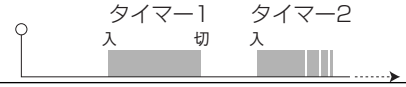
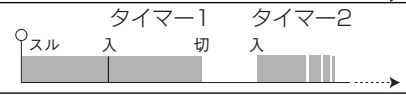
ランプ	点灯	点灯(橙)	消灯
タイマー運転	する (待機)	する (運転中)	しない

1 → P18参照

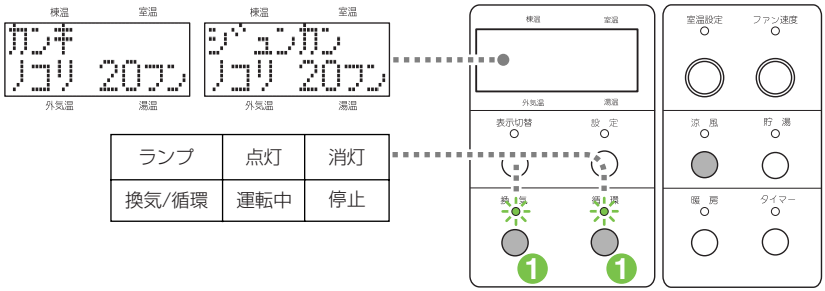
補助暖房をタイマー運転する/しないをタイマーボタンで設定します。

1 「設定モード」でタイマーの入切時間を設定します。(P18参照)
2 タイマーボタンを押してタイマーのON/OFFを設定します。

・タイマーボタン、暖房ボタンの順で両方をONにすると、組み合わされた運転時間になります。
・暖房ボタン、タイマーボタンの順でONしたときは、暖房ボタンがキャンセルされてタイマーのみ残ります。

暖房	タイマー	運転時間
スル	OFF	
シナイ	ON	
スル	ON	

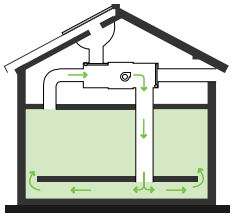
換気／循環



換気運転と循環運転はボタンを押すことで強制的に開始させることができます。

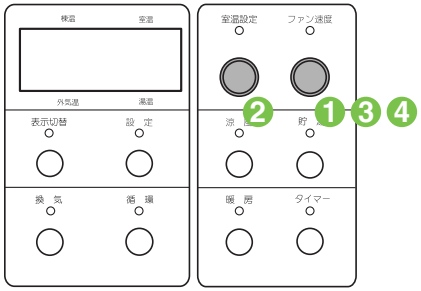
❶ 換気／循環ボタンを押すと残りの運転時間が表示
されて運転が開始されます。

・換気／循環の運転時間の初期値は「20分」です。「設定モード」で5分～12時間に変更することができます。（P18参照）
・運転を途中でやめるときはもう一度換気／循環ボタンを押します。
・棟温が75℃のときは、集熱面の温度上昇防止のため、換気／循環の運転時間は10分になります。
（5分に設定されているときは5分のまま）
・床下に空気が送られない状態が24時間以上続くと、床下の空気を動かすために、夕方5時から20分間自動的に循環運転が作動します。これを床下換気運転「ユカシタカンキ」と呼びます。



床下換気運転(ユカシタカンキ)

ファン速度



ハンドリングボックスのファン速度はファン速度ボリュームで運転モード別に設定することができます。

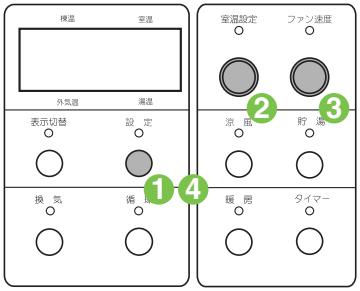
❶ファン速度ボリュームを押す。
❷室温設定ボリュームを回して、ファン速度を変更したい運転モードを選択する。
❸ファン速度ボリュームを回して設定を変更する。
❹ファン速度ボリュームを押して設定を終了する。

ファン速度項目一覧

項目（ディスプレイ表示）	運転モード	設定範囲	初期値
トリイレ・ハイキ	取入・排気運転	テイシ、1～5、AUTO	AUTO
ダンボウ	暖房運転	1～5、AUTO	AUTO
リョウフウ	涼風取入運転	1～5	4
カンキSW	換気運転	1～4	4
ジュンカンSW	循環運転	1～4	4
ヤネヒヤシ	屋根冷やし運転	テイシ、1～5	4
ユカシタカンキ	床下換気運転	テイシ、1～5	3

・ファン速度は基本的には初期値のままにしておくのがよいでしょう。深夜・早朝などに作動し、うるさく感じるときはファン速度を低めに設定してください。ただし、ファン速度を低めに設定すると送風能力が落ち、効果も低下することになります。
・「トリイレ・ハイキ」にある「テイシ」の選択肢はメンテナンス用です。ふだんは選択しないでください。
（万が一選択してしまったときでも、棟温が75℃以上になるとファンは強制的に回ります）
・取入運転と暖房運転の条件が同時に揃って暖房取入運転（ダンボウトリイレ）になったとき、ファン速度はどちらか大きい方の設定になります。

設定モード



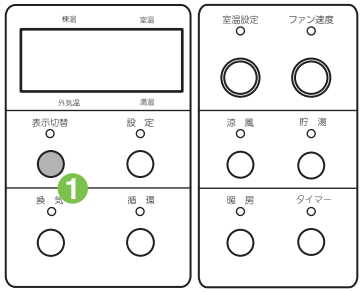
現在時刻やタイマー時刻、運転条件などは「設定モード」で変更することができます。

1. 設定ボタンを押して「設定モード」にする。
2. 室温設定ボリュームを回して変更したい項目を選択する。
3. ファン速度ボリュームを回して設定を変更する。
4. 設定スイッチを押して設定を終了する。

設定モード項目一覧

項目（ディスプレイ表示）	内　　容	設定範囲	初期値
ジコク　ジ	現在時刻の「時」	0～23	0
ジコク　フン	現在時刻の「分」	00～59	00
タイマー1　イリ	補助暖房タイマー1の「入」時刻	0：00～23：50（10分間隔）	なし
タイマー1　キリ	補助暖房タイマー1の「切」時刻	0：00～23：50（10分間隔）	なし
タイマー2　イリ	補助暖房タイマー2の「入」時刻	0：00～23：50（10分間隔）	なし
タイマー2　キリ	補助暖房タイマー2の「切」時刻	0：00～23：50（10分間隔）	なし
カンキSW　タイマ	換気の運転時間	0:05～12:00、連続	20分
ジュンカンSW　タイマ	循環の運転時間	0:05～12:00、連続	20分
ヒョウジ　キリカエ	ディスプレイ表示の切替間隔	固定、1～30秒	固定
ウンテン　キロク	運転記録のディスプレイ表示	見ない　見る	見ない
トケイヒョウジ	12時間制と24時間制の設定	12 時間、24 時間	12時間
シュウネツカイシ	集熱を開始する棟温	室温+0～30℃、棟温＞10～50℃	室温＋10℃
チョトウカイシ	お湯採りを開始する室温	条件なし、暖房室温、取入室温、10～35℃	条件なし

表示切替



表示切替ボタンを押すとディスプレイの表示内容が切り替わります。

❶ 表示切替ボタンを押して表示モードを切り替えます。

・表示切替の間隔は、初期値が「固定」に設定されています。「設定モード」で設定を変更すると、1～30秒間隔で表示が自動的に切り替わるようになります。
・運転記録の項目は全部で41個あります。当日～10日前まで見ることができます。

動作状況モード

棟温　室温
動作状況(動作状況、ファン速度)

時刻表示モード

棟温　室温
現在時刻

温度表示モード

棟温　室温
外気温　湯温※1

設定室温モード

暖房室温※2
取入室温

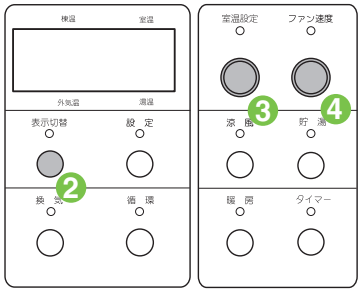
「設定モード」で運転記録を「ミル」にすると追加されます。(P18参照)

運転記録モード

運転記録

※1.湯温センサーが接続されていないときは湯温は空欄になります。
※2.暖房OFFのときは暖房室温の代わりに棟温と室温が表示されます。

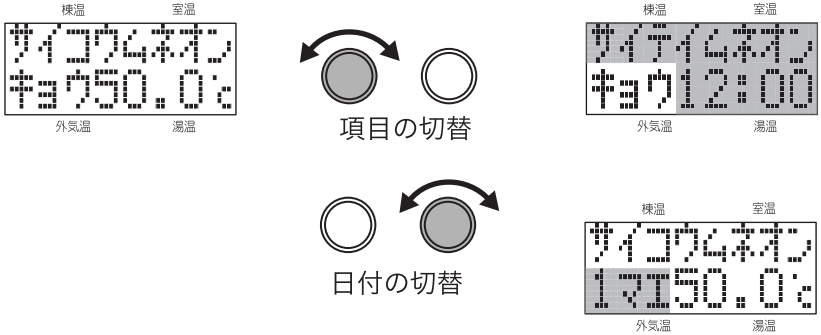
運転記録



❶ →P18参照

当日～10日前までの41項目の記録を見ることができます。

❶「設定モード」で運転記録の設定を「ミル」に設定する。
❷ 表示切替ボタンを押して、ディスプレイの表示を運転記録モードに切り替える。
❸ 室温設定ボリュームを回して、見たい項目を選択する。
❹ ファン速度ボリュームを回して、記録を見たい日を選択する。（当日～10日前まで）

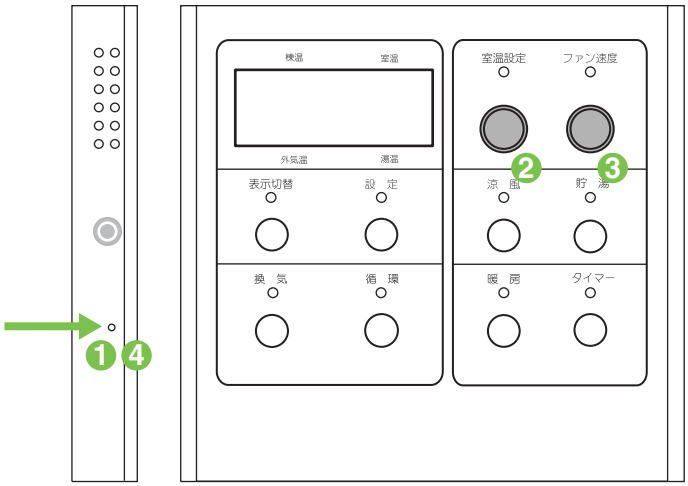


・記録される熱量や電力はおおよその値です。

項　　目	内　　容
最 高 棟 温	棟温の最高温度 最高棟温に達した時刻
最 低 棟 温	棟温の最低温度 最低棟温に達した時刻
最 高 室 温	室温の最高温度 最高室温に達した時刻
最 低 室 温	室温の最低温度 最低室温に達した時刻
最高外気温	外気温の最高温度 最高外気温に達した時刻
最低外気温	外気温の最低温度 最低外気温に達した時刻
最 高 湯 温	湯温の最高温度 最高湯温に達した時刻
最 低 湯 温	湯温の最低温度 最低湯温に達した時刻
取入開始時刻	取入運転を開始した時刻
取入終了時刻	取入運転を終了した時刻
取入運転時間	取入の運転時間
排気開始時刻	排気運転を開始した時刻
排気終了時刻	排気運転を終了した時刻
排気運転時間	排気の運転時間

項　　目	内　　容
涼風開始時刻	涼風運転を開始した時刻
涼風終了時刻	涼風運転を終了した時刻
涼風運転時間	涼風の運転時間
貯湯開始時刻	貯湯を開始した時刻
貯湯終了時刻	貯湯を終了した時刻
貯湯運転時間	貯湯の運転時間
ボイラー運転時間	暖房ボイラーの運転時間
屋 根 熱 量	屋根で得られた熱量(総計)
使 用 熱 量	集熱量のうち、取入もしくは貯湯に利用した熱量
取 入 熱 量	集熱量のうち取入に利用した熱量 (貯湯取入のとき貯湯に使われていた熱量が含まれる。)
貯湯熱量[kcal]	貯湯に利用した熱量
涼風熱量[kcal]	涼風取入運転で得られた熱量
使用電力[wh]	OMソーラー全体の消費電力量
取入電力[wh]	取入運転時のファンの消費電力量
排気電力[wh]	排気運転時のファンの消費電力量
涼風電力[wh]	涼風運転時のファンの消費電力量
貯湯電力[wh]	貯湯槽の消費電力量
ボイラー電力[wh]	暖房用ボイラーの消費電力量
その他電力[wh]	待機電力および、換気扇等の連動機器の 消費電力量

拡張設定



動作条件に関する細かな設定は、「拡張設定モード」で変更することができます。
より細かく、こだわった設定をされたい方に適した機能です。

1. 拡張設定スイッチをピンなどの細いもので押す。→ディスプレイの表示が切り替わります。
2. 室温設定ボリュームを回し、設定を変更したい項目を選択する。
3. ファン速度ボリュームを回して設定を変更する。
4. 拡張設定スイッチを押して設定を終了する。

・設定中に、換気ボタン、循環ボタンを押すと、初期値以外に変更された項目へジャンプします。

<table>
<tr><th>項目（ディスプレイ表示）</th><th>内容と設定範囲（選択肢）</th><th>初期値</th></tr>
<tr><td>01ファン=AT</td><td>自動運転時のファン速度設定
取入・排気運転のファン速度を「AUTO」にしたときの棟温とファン速度の関係を設定します。
【選択肢】パワフル／節電
<table><tr><th rowspan="2">ファン速度</th><th colspan="2">パワフルモード（パワフル）</th></tr><tr><th>室温<取入室温</th><th>室温>取入室温</th></tr><tr><td>1</td><td>～36℃</td><td>～44℃</td></tr><tr><td>2</td><td>36～39℃</td><td>45～49℃</td></tr><tr><td>3</td><td>40～43℃</td><td>50～54℃</td></tr><tr><td>4</td><td>44～47℃</td><td>55～59℃</td></tr><tr><td>5</td><td>48℃～</td><td>60℃～</td></tr><tr><td></td><td colspan="2">節電モード（セツデン）</td></tr><tr><td>1</td><td colspan="2">～44℃</td></tr><tr><td>2</td><td colspan="2">45～49℃</td></tr><tr><td>3</td><td colspan="2">50～54℃</td></tr><tr><td>4</td><td colspan="2">55～59℃</td></tr><tr><td>5</td><td colspan="2">60℃～</td></tr></table>高い方から低い方に変化するときの切替温度は上記よりも3℃低くなります。（温度差が3℃設けられています。）</td><td>パワフル</td></tr>
<tr><td>02ユオンセイゲン</td><td>湯温制限
湯温が設定した温度に達すると、その時点で貯湯運転を停止します。お湯が十分採れるとき、貯湯槽の節電に効果があります。
【設定範囲】制限なし／35～70℃まで</td><td>制限なし</td></tr>
<tr><td>03セッテイSWカクチョウ</td><td>設定スイッチの拡張
設定スイッチでこの拡張設定が変更できるようになります。
【選択肢】なし／あり</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>04オンドタンイ</td><td>温度表示単位
温度を表示する単位を切り替えます。0.1℃単位を選択すると、例えば25.3℃は「253」と表示されます。
【選択肢】1℃／0.1℃</td><td>1℃</td></tr>
<tr><td>05リョウカイシムネオン</td><td>涼風取入開始棟温
涼風取入運転を開始するときの棟温を設定します。
【設定範囲】室温±3℃／20～35℃</td><td>室温+0℃</td></tr>
<tr><td>06リョウテイシ</td><td>涼風取入停止棟温
涼風取入運転を停止するときの室温を設定します。
【設定範囲】取入室温+0～5℃／10～35℃</td><td>取入室温</td></tr>
</table>

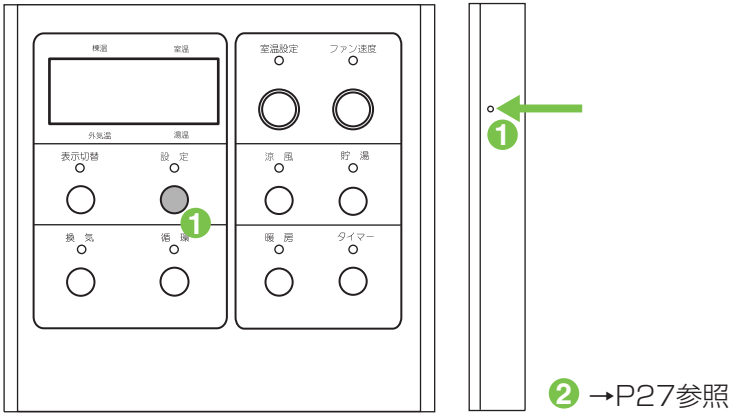
項目（ディスプレイ表示）	内容と設定範囲（選択肢）	初期値
07リョウフウカンキ	**涼風取入時換気運転** 涼風取入運転時に、1時間毎に設定した時間だけ換気運転をおこないます。 **【設定範囲】**なし､5分､10分､20分､30分､40分､50分､55分､常に換気（連続）	なし
08ATサイテイファン	**ファンAUTO時最低風量** ファン速度が「AUTO」のときの最低ファン速度を設定します。 **【設定範囲】** 1 ～ 5	1
09ATサイコウファン	**ファンAUTO時最高風量** ファン速度が「AUTO」のときの最高ファン速度を設定します。 **【設定範囲】** 1 ～ 5	5
10カンキ　SW ※ 11ジュンSW ※	**換気／循環ボタン** 換気／循環ボタンを押したときに選択される運転モードを設定します。 トリイレウンテン　強制的に取入運転をする。 ハイキ　ウンテン　強制的に排気運転をする。 カンキ　ウンテン　強制的に換気運転をする。 ジュンカン　　強制的に循環運転をする。 ウンテンテイシ　強制的に運転を停止する。 ダンボウトリイレ　強制的に暖房取入運転をする。 ダンボウ　　強制的に暖房（循環）運転をする。 **【選択肢】**取入､排気､換気､循環､停止､暖房取入､暖房（循環）	換気 循環
12ムネユオンサ	**棟温と湯温の温度差** 高温センサーを使わないタイプの貯湯槽を設置する場合、棟温が、湯温より設定値以上に高い場合に限って貯湯ポンプを働かせます。 **【選択範囲】**制限なし／棟温≧湯温＋1～20℃	制限なし
13ダンジュントリイレ	**循環暖房時取入設定** 暖房(循環)運転時に、1時間毎に設定した時間だけ暖房取入運転をおこないます。 **【設定肢】**なし､5分､10分､20分､30分､40分､50分､55分、常に取入（連続）	なし
14シゼンカンキ	**自然換気設定** 室温＞取入室温で停止するとき、自然換気するかを設定します。 **【選択肢】**する／しない	する

※ 外気がハンドリングボックスを通過する「取入」､「排気」､「暖房取入」を選択したとき、凍結による事故等を防止するため、棟温が5℃以下の場合はスイッチを押しても作動しません。

項目（ディスプレイ表示）	内容と設定範囲（選択肢）	初期値
15サイテイシツオン	**最低室温設定** 暖房タイマー運転時、タイマー時間外でも設定した室温以下になると、暖房運転が働きます。 寒冷地で夜間、暖房を止めると冷えきってしまう場合に設定します。 **【設定範囲】**設定なし／1～15℃	設定なし
16ヤネヒオワリ	**屋根冷やし終了時刻** 屋根冷やし運転の終了時刻を設定します。 **【設定範囲】**18：00～翌朝8：00	0：00
17ユカシタイリ	**床下換気「入」時刻設定** 床下換気運転を開始する時刻を設定します。 **【設定範囲】**17：00～8：00	17：00
18ユカシタキリ	**床下換気「切」時刻設定** 床下換気運転を停止する時刻を設定します。 **【設定範囲】**17：00～8：00	17：20
（19タイマ3イリ）※※	**（タイマー3「入」時刻設定）** タイマー運転できる換気扇等が設けられているとき、タイマーの「入」時刻を設定します。 **【設定範囲】**設定なし／00：00～23：50	設定なし
（20タイマ3キリ）※※	**（タイマー3「切」時刻設定）** タイマー運転できる換気扇等が設けられているとき、タイマーの「切」時刻を設定します。 **【設定範囲】**設定なし／00：00～23：50	設定なし
（21タイマ4イリ）※※	**（タイマー4「入」時刻設定）** タイマー運転できる換気扇等が設けられているとき、タイマーの「入」時刻を設定します。 **【設定範囲】**設定なし／00：00～23：50	設定なし
（22タイマ4キリ）※※	**（タイマー4「切」時刻設定）** タイマー運転できる換気扇等が設けられているとき、タイマーの「切」時刻を設定します。 **【設定範囲】**設定なし／00：00～23：50	設定なし
（23コヤ××℃） セッテイ40℃ ※※	**（小屋裏換気温度設定）** 小屋裏換気運転を開始する小屋裏の温度を設定します。 （××は、現在の小屋裏の温度を示しています。） **【設定範囲】**設定なし／20～55℃	30℃

※※ 対応する機器が設置されていない場合は表示されません。

リセット



リセットには、ボタンの設定と時計を初期値に戻す「通常リセット」と設定モードや拡張設定モードまで初期値に戻す「ユーザー設定リセット」の2種類があります。

通常リセットをするには

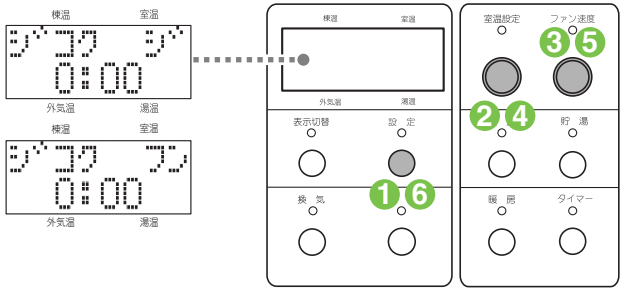
1. リセットボタンをピンなどの細いもので押す。
2. ディスプレイの表示が、起動画面から時刻設定する表示に切り替わるので時刻を設定する。

ユーザー設定リセットをするには

1. 設定ボタンを押しながら、リセットボタンをピンなどの細いもので押す。
   設定ボタンを押したまま、リセットボタンを先に離す。
2. ディスプレイの表示が、起動画面から時刻設定する表示に切り替わるので時刻を設定する。

・「ユーザー設定リセット」をおこなうと、「設定モード」、「拡張モード」の全ての設定が初期値に戻ります。
初期値に戻す必要がない項目があるときは、事前に控えてリセット後に再設定してください。

時計の合わせ方

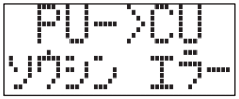
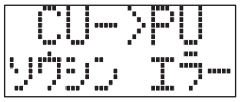
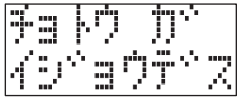
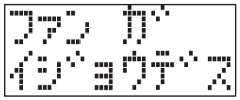
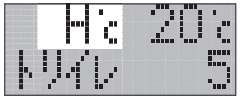
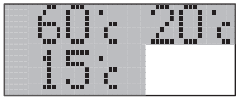


停電やリセット操作をしたときに時計を合わせます。

1. 設定スイッチを押す。
2. 室温設定ノブを回して「ジコク　ジ」を選択する。
3. ファン速度ノブを回して時間を合わせる。
4. 室温設定ノブを右に回して「ジコク　フン」を選択する。
5. ファン速度ノブを回して分を合わせる。
6. 設定スイッチを押して設定を終了する。

・時計表示の初期値は「12時間制」に設定されていて「設定モード」で表示を24時間制に変更することができます。（P18参照）
・停電やリセット操作したときには、最初に下の様な表示になります。設定手順の3から始めてください。

エラーメッセージ

エラーメッセージ	故障原因
	制御盤とパワーユニットをつなぐケーブル(信号ケーブル)が断線しているか、きちんと差し込まれていない
	
	貯湯槽とパワーユニットをつなぐケーブル(貯湯表示信号ケーブル)がショートしている
	ファンモーターがパワーユニットに接続されていないか故障している
	温度センサーがショートしている 例:棟温がH℃を表示しているときは棟温センサーがショートしている
	温度センサーが断線している 例:棟温がL℃を表示しているときは棟温センサーが断線している
 (お湯採り有りの場合)	湯温センサーが接続されていないか、断線している

※ エラーが表示された場合はリセット操作をお試しください。リセット操作後も症状が改善されない場合は施工工務店にご相談ください。

故障かな？と思ったら

症　　状	原因と対策	参考頁
集熱できない	・取入室温が「シナイ」又は低めに設定されている ・「トリイレ・ハイキ」のファン速度が「テイシ」に設定されている ・集熱する条件が揃っていない	P10 P17 P18
お湯採りができない	・貯湯が「スル」になっていない ・お湯採りする条件が揃わず待機中	P12
涼風取入できない	・涼風が「スル」になっていない ・涼風取入する条件が揃わず待機中	P13
補助暖房ができない	・暖房室温が「テイシ」又は低めに設定されている ・タイマー運転中でタイマー時間外になっている	P11 P15
循環運転ができない	・循環がONになっていない ・棟温が75℃を超えると最大で10分間の運転となります ・拡張設定で「ジュンカン」以外を選択している	P16 P22
換気運転ができない	・換気がONになっていない ・棟温が75℃を超えると最大で10分間の運転となります ・拡張設定で「カンキ　ウンテン」以外を選択している	P16 P22

仕様

		コントロールユニット CU-5	パワーユニット PU-5
定格電圧		電源はパワーユニットから供給	単相AC100［V］±10% 50/60[Hz]
定格消費電力（内部消費電力）			13［W］外部接続機器を除くCU動作時
保護素子（ヒューズ）			内部電流用　：125V/250V 0.5A 半田付け型ヒューズ
			ファンモーター用：125V/250V 2.5A
			外部接続機器用　：125V 8A
使用環境条件		設置：室内、周囲温度：－10～50℃、相対湿度：85%以下、但し結露なきこと	
外形寸法		縦151　横157　高さ24.2［mm］	縦300　横165　高さ95［mm］
絶縁耐圧			AC1500［V］
絶縁抵抗			DC500［V］ 10［MΩ］以上
液晶ディスプレイ		8文字2行	
温度表示	範囲	－25℃～110℃（－25.5℃以下はL、110.5℃以上はH）	
	精度	－25～0℃：±2℃、0～50℃：±1.5℃、50～110℃：±3℃	
時計精度		月差±1分	
バックアップ時間		時計動作：12時間以上　設定：10年（故障・雷サージなどによる消失を除く）	

T型制御盤　操作説明書
第2版　2005年5月1日
発行　OMソーラー協会

OMソーラー協会
〒431-1207　静岡県浜松市村櫛町4601　TEL 053-488-1700(代)　http://www.omsolar.co.jp/

0534-050501-1